



豊かな自然にひと・もの・まちが輝く健康都市 網走

市議会だより

第102号（令和3年2月）

発行／網走市議会

編集／網走市議会広報委員会



【もくじ】

トピックス	2～3P
一般質問	4～6P
議案審査結果	7P
議会報告会・意見交換会概要	8P

市民のみなさまの傍聴をお待ちしております。

次の定例会は3月2日(火)
～3月22日(月)の開催予定です。

※詳細につきましては、議会事務局へ
お問い合わせください。

■問い合わせ Tel 44-6111(内線281・282)



中継ホームページ
はこちら

UD FONT

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮した
ユニバーサルフォントを採用しています。

(天を仰いで舞い踊るタコ～2020あばしりオホーツク流氷まつりの氷像 写真 八幡 和志 氏)

12月定例会のトピックス

第4回定例会概要

網走市議会第4回定例会は12月8日から17日の日程で開催されました。

総額310億1684万円となる令和2年度網走市の一般会計補正予算、その他各特別会計についての補正予算案をそれぞれ審議可決しました。

一般会計補正予算の詳細については、国の補正予算及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した市内全域の光回線整備率100%達成に向けた追加補正（10億1090万円）。同時に辺地光回線敷設に伴う公共的施設の総合整備計画の策定、計画変更を行いました。

その他、集会施設感

染症対策補助金として町内会等が行う集会施設の感染拡大防止対策に対し補助するため追加補正（155万円）。

簡易陰圧装置設置支援補助金として社会福祉法人が実施する小規模特別養護老人ホームへの簡易陰圧装置設置に對して追加補正（660万円）。ひまわり保育園及び子育て支援センターひまわりにおける感染症対策として換気機能付きエアコン（4箇所）を設置するための追加補正（400万円）。スクールバスの感染予防対策として登校時のスクールバス増便を継続するための追加補正（770万円）。追加議案として、議案10号、14号が追加され、人事院

勧告に伴う特別職（議員含む）、一般職の給与改定及び育児休業等により所要の経費を補正する人件費補正（△4671万円）。女満別空港整備利用促進協議会負担金として、女満別空港整備利用促進協議会が行うLCC就航の支援に係る経費の一部負担のため追加補正（112万円）。女満別空港就航路線支援事業として女満別空港整備利用促進協議会が行う、定期便の減便を余儀なくされている従来便数への復元を支援するための経費を負担するための追加補正（226万円）。女満別空港新規就航路線利用促進事業としてピーチ・アビエーション（株）の成田女満別線の就航に伴い、新規航空路線を利用した旅行代金の助成、

同時にレンタカーを利用された場合に割引を実施するための追加補正合計（1147万円）。ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業として、新型コロナウイルス感染症により子育てに影響を受けたひとり親世帯の生活を支援するための追加補正（600万円）。感染症検査体制整備事業補助金として、感染症指定医療機関が行う検査体制の拡充に附帯する取組を支援するための追加補正（500万円）。

新型コロナウイルス第3波真っ只中、感染症対策議案が多数を占め、感染予防や検査体制の拡充、収束後を見据えた観光対策案、感染防止のためのスクールバスの増便、ひとり親世帯への追加支援、市内公共施設の指定管

理者を指定、ピーチ・アビエーション（株）の新規就航に伴う支援、観光対策事業については状況を見て実施するなど細心の注意が必要な事業などもあり、各議案それぞれが総務経済委員会、文教民生委員会に付託され種々議論された後に審議され、本会議にて原案可決されました。



トピックス

第8回・第9回
臨時会の概要

網走市議会では、10月12日に第8回、11月30日に第9回、12月25日に第10回の臨時会を開催しました。

臨時会とは、通常の定例会とは異なり、議員の改選後や大きな災害など特に緊急な事案が生じたときなどに招集されます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大という状況から、本年は通例と異なり多くの臨時会が開催されています。

第8回の臨時会では、一般会計補正予算として、新庁舎の建設に係る基本実施設計などの経費4320万円を追加補正し、翌年度に事業がまたがることから継続費として総額1億6350万円を設定しました。

また、観光振興のために宿泊助成と広告記載に係る委託料として1450万円。港湾整備として旧オーロラタミミナルを解体し、小型国際クルーズ船受入れ場所として整備するために5400万円。健康管理として、感染症患者を受け入れるために医療機関がおこなう整備・改修への支援として5000万円。ごみ処理場の生ごみ受け入れ能力増強のための経費として9350万円。教育委員会費では、コロナ禍により修学旅行のキャンセルが発生しているため、そのキャンセル料に係る助成金として800万円を、それぞれ追加補正しました。



また、財産の取得として、小中学校の児童生徒一人ひとりに1台のパソコン端末を整備する国のGIGAスクール構想に基づき、パソコン2607台の整備と付属機器を1億2750万円で取得する議案について審査し、可決いたしました。

第9回の臨時会では、網走市職員給与条例等の一部改正として、市役所の職員と市議会議員の期末手当を減額する改正を審査し、決定いたしました。

第10回の臨時会の内容は、6ページをご参照ください。

新庁舎建設にむけて
士別市役所を視察しました

網走市議会は11月4日、新庁舎建設の参考のため士別市役所を視察しました。士別市は明治32年、開拓から120年がたち、昭和・平成の合併を経て、多い時は4万4千人の人口も現在1万8千人を切っているそうです。その中で令和2年5月に新庁舎が完成しました。

コンパクトな3階建て、1階は①戸籍②国保の2つの市民課、③税務課、④水道・市営住宅の施設管理課、⑤市民相談・ゴミの環境課と消費生活センター、⑥会計課、⑦福祉まるごと相談窓口、以上7つの課があり市民の皆様がワンフロアで用事が済むように使い易い設計でした。



3階の本会議場は議長席を含め17席の議員席と執行部席17席、傍聴席20席で217・6平方メートル、隣接して議会事務局があり大変有効と思われました。しかし、柱があつたりと少し狭い印象を受けました。議員控室は全員で大部屋一つ、図書室兼ラウンジやミニ会議室と委員会室なども使用し狭さを使い方カバー。肝心の建設費33億円も大変参考になりました。

一般質問から

お知らせメール@あばしり
について

志誠会 古田 純也



問) LINEアプリでのサービス発信は今後可能か。

答) LINEを利用するユーザーが多いデータもあるので、LINEを活用した情報発信は有効と考えている。先進都市の事例を参考に検討していきたい。

問) 網走市の近年の出生数の推移について、平成27年度は281名だった出生数が令和元年には184名と大きく減少している。今後の市の見通しを伺う。

答) 出生数が増加する可能性は、このままの状況では可能性が低いと想定している。

問) GIGAスクール構想で導入したタブレット端末の余剰が出た時の高齢者への貸し出しは可能か。

答) 学校での利用状況や使用可能な台数など、その時の状況をみながら、可能なかぎり柔軟に対応していきたいと考えている。

新婚新生活支援事業を
網走市でも導入を

公明クラブ 澤谷 淳子



問) 政府は少子化対策の一環として結婚年齢が39歳以下で年収約540万未満のカップルの住まいについて、引っ越し費用・家賃・敷金・礼金を1年間のみ60万円限度に今までより拡充して令和3年度も支援することを予算決定した。少子化傾向の昨今、未婚の理由に「結婚資金不足」を男女ともに挙げている。しかし、結婚後の夫婦には2人もしくはそれ以上子供が生まれている事から政府の拡充を機に少子化対策として網走市にも新婚新生活支援事業を導入してみては。

答) 2016年からの制度と認識している。来年度の条件の緩和で該当する世帯にとって、経済的な理由で結婚に踏み出せない場合の後押し、また結婚を考える機会となる制度であると考えられるため、全道24市町村で実施している先進地の取組を参考にし、前向きに検討したい。

高齢者対策、地元企業
支援、短大等の誘致

公明クラブ 永本 浩子



問) 今後益々増加する高齢者の安否確認や見守り体制に民間企業との協働、ITの活用を。

答) 先進事例を参考に新たなシステムを研究。

問) 年金で入れる高齢者用シェアハウスを。

答) 需要の動向と国の制度等調査研究する。

問) 高齢者と子どもや住民等が交流する多世代交流で元気な高齢者を増やす取り組みを。

答) コミセンや町内会館を拠点とした多世代交流型の仕組みづくりに取り組んでいく。

問) コロナ禍を乗り越えるためにも市発注の公共事業は地元業者に出せるように工夫を。

答) 下請け業者の決定は請負業者の裁量。工事の条件に地元企業への配慮を図っている。

問) ネット注文は便利だが買える物は地元で買って守っていく住民意識の転換と周知を。

答) 関係団体と連携し地元消費を喚起する。

問) 若者の流出を防ぎ網走の食材を活用した商品開発に繋がる夢のある短大等の誘致を。

答) 需要等の情報収集を含め研究していく。

除雪の負担軽減を
コロナ感染情報を示せ

日本共産党議員団 村椿 敏章



問) 除雪時に間口に残る重たい雪で高齢者は大変だ。高齢者除雪サービスの運用は。

答) 除雪方法については特に制限することはなく、町内会に一任する。

問) 高齢者除雪サービスの利用件数が増え、全市的な除雪となれば、道路除雪の中に間口除雪を検討し、費用の試算を。

答) 対象件数がわかれば費用の試算はできるが、雪の堆積場所の確保など、課題はある。

問) 感染者が確認された場合の対応マニュアルは。

答) 対応マニュアルは無い。北海道からの指示で対応する。

問) では、公共施設で確認された場合はどこから利用者に連絡が来るのか。

答) 公共施設の場合は濃厚接触者と判断された場合は保健所から利用者に連絡が来る。

今後、感染確認があった場合は関係機関と協議をし、市の対応について公表する。

一般質問から

コロナ対策や追加支援、
風力発電所について

民主市民ネット 川原田 英世



問) コロナ感染の情報提供を十分に行うべき。

答) 情報は保健所からの発表以外にない。

問) 庁舎内や市の主催事業、所管施設などで感染者がでた場合の対応マニュアルは。

答) とくにマニュアルはない。保健所の指示に従って対応していく。

問) 感染者が出る前に、事前に感染者がでた場合の対応を保健所と協議すべき。

答) 事前にはしない。保健所の指示に従う。

問) コロナ禍で特に影響を受ける低所得者やひとり親世帯への追加支援は。

答) 国からのひとり親世帯への追加支援が行われる。市独自の対策は状況をみて検討する。

問) 常呂能取風力発電所建設に対し、環境への配慮を十分に行うように企業側へ要請を。

答) しっかりと対応していく。

問) エネルギー地産地消など、ビジョンは。

答) 1月に新電力会社の勉強会を行い、エネルギーの地産地消を目指していく。

網走の財政と街づくりは

民主市民ネット 山田 庫司郎



問) 令和2年度の決算見込みは。

答) 予算規模も約370億円の過去最大になる見込みだが、国の補正などによるものであり市への負担は少ない。

問) 令和3年度の予算編成の考え方は。

答) 基金繰入は4億円程度と考えており、臨時財政対策債の有効活用を考え、コロナ感染症対策・経済の活性化・ICT技術の積極的活用などを柱に編成していく。

問) 街づくりの具現化は。

答) 20年後を見据えたコンパクトな街づくりのため、立地適正化計画を策定中であり、新庁舎を都市拠点に多くの都市機能を更に誘導し、魅力的な都市環境整備を目指す。

問) 原子力発電所の「高レベル放射性廃棄物」の道内誘致について

答) 網走市としては、文献調査への応募の考えは持っていないと報道機関のアンケートに回答した。

当市のコロナ対策の強化
について

栗田 政男



問) コロナ第3波拡大の中で、現在の検査体制はどうなっているか。

答) 医師の判断のもとでの検査体制と短時間で多くの検体ができるように準備している。

問) クラスター発生時の市の対応マニュアルはあるか。

答) 市の対応マニュアルはないが、保健所の指導のもと適切に対応する。

問) 経営状況が悪化している業種の支援は。年内の支援も必要と考えるが。

答) 飲食・宿泊などの業種は大変な状況である。国と道の動向に注視し適切に対応する。

問) 市民の「安心と安全」のために適切なコロナ情報の開示が必要と考えるが。

答) 保健所からの報告がない限り、市民に情報提供できない。

※正しい情報は「真実に基づかない情報拡散の防止」と市民生活の安定に繋がる。保健所には情報開示を強力に要請すべきと考える。

学校トイレ整備計画を
ゴミ処理政策見通しは

志誠会 近藤 憲治



問) 古い学校トイレの使いづらさが顕在化している。学校施設の長寿命化にあわせて、計画的な整備が必要と考えるが、認識は。

答) 児童生徒用トイレの改修は、長寿命化計画の学校施設整備の基本的な方針等で長寿命化を検討する施設の一部に位置付けている。

問) 学校のトイレ整備を子どもたちの学びの環境改善と位置付けて推進すべき。

答) 商業施設や家庭に比して、学校のトイレの快適さという観点で格差が生まれたと感じており、近年トイレの改修にあわせ、トイレを子どもたちの憩いの場、落ち着く場、交流の場とする先進事例は認識している。

問) 廃棄物処分場の埋め立てのペースが計画より早い。次期処分場整備に向けた議論を速やかに進めていくべき。認識は。

答) 最終処分場の整備は6年程度の時間を要する。検討は時期を逸することの無いよう進めたい。

一般質問から

部活動、スキー場人件費、
コロナ対応について

志 誠 会 小田部 照



問) 部活動改廃については、子ども達がスポーツや文化活動を継続できるよう、各学校単位では無く地域全体で考え、市教委が各学校や民間団体等と連携し協議すべき。

答) 指導員制度の導入等、どのような取り組みが可能か関係団体と議論を進めていきたい。

問) スキー場人件費は、雇用期間の最低保障を設定すべき。

答) 最低保障の考え方は必要と認識。指定管理者と協議を行いたい。

問) 10月のイベントで講師3名がコロナに感染した事に対し、参加した市民への説明を求めたが、対応しなかったのはなぜか。

答) 市民に説明できるだけの情報を把握していなかった。参加者の安心を確保する対応が必要と反省し、説明が遅くなったお詫びと経過を文書で知らせた。

問) 保健所の指示でPCR検査を受けた市職員がいた。市民説明が無いのはなぜ。

答) 職務専念義務の免除指示をし、自宅待機とした。

コロナから子ども達や
飲食業を守る対策を

日本共産党議員団 松浦 敏司



問) 新型コロナの感染が広がる中、児童・生徒の感染を想定した対策が必要ではないか。

答) 感染拡大の防止、感染者・濃厚接触者への配慮を重点に対応する。情報については、個人情報保護の観点から、慎重に対応する。

問) 感染症対策として、少人数学級が必要だが文部科学大臣も積極的と聞くと、国の見通しはどのようになっているか。

答) 少人数学級については、現在、文部科学省で財務省と折衝していると聞く。

問) 新型コロナの感染拡大が始まって10カ月が経つ。3月下旬から5月までの休業要請で飲食業は収入が途絶えたため、国・道・市の支援で経営を続けてきた。第3波で忘年会や新年会がキャンセルになり深刻な状況だ。市独自の支援で救済すべきではないか。

答) 国の経済対策の動向や感染症の状況にも注視しながら商工会議所、金融機関等と連携しながら必要な対策を講じたい。

悪質クレーム防止対策
コロナ禍対策の強化を

民主市民ネット 平賀 貴幸



問) 悪質クレームへの網走市の認識は。対策をどのように進めるのか。

答) マスクの着用をお願いした従業員が過度なクレームを受けるなど社会問題化していることは認識しているが把握は難しい。

問) 悪質クレームの実態把握を行ったうえで対策が必要ではないか。

答) 今後、市内の実態把握を行いたい。

問) コロナ禍による不登校の状況と、「不登校カフェ」のような多様な学びの場の補償に対する対応が必要と考えるが。

答) 実態の把握は難しいが一定数はある。1人ひとりの状況に応じて丁寧に支援を行う。

多様な学びの場の補償については他市の事例などを参考にしていきたい。

※コロナ禍対策の検証の必要性、観光への更なる対策長期滞在と移住の強化、自殺防止、ふるさと納税の新たな取組みによるコロナ禍対策の実施などについても質問。

第10回 臨時会の概要

この度の臨時会では、新型コロナウイルスによって影響を受ける市内の事業者に対して10万円を基本に給付。また医療機関に対しては、応援金としてその規模に合わせ100万円から10万円を給付する一般会計補正

予算について、委員会に付託し審査しました。委員会では、給付は基本的に28日に口座に振り込まれることの確認や、「この金額では不十分であり年明け後にも更なる追加給付を」と委員から発言があり、今後の対策について議論が行われたのち、原案可決いたしました。

議案審査結果

第8回臨時会の議決結果について（10月12日）

○全会一致で可決した議案

議案第1号 令和2年度網走市一般会計補正予算

議案第2号 財産の取得について

第9回臨時会の議決結果について（11月30日）

○全会一致で可決した議案

議案第1号 網走市職員給与条例等の一部を改正する条例制定について

第10回臨時会の議決結果について（12月25日）

○全会一致で可決した議案

議案第1号 令和2年度網走市一般会計補正予算

第4回定例会の議決結果について（12月8日～12月17日）

○全会一致で可決した議案

議案第1号 令和2年度網走市一般会計補正予算

議案第2号 令和2年度網走市国民健康保険特別会計補正予算

議案第3号 令和2年度網走市介護保険特別会計補正予算

議案第4号 令和2年度網走市後期高齢者医療特別会計補正予算

議案第5号 令和2年度網走市水道事業会計補正予算

議案第6号 網走市公の施設に係る指定管理者の指定について

議案第7号 市道の路線認定について

議案第8号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

議案第9号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

議案第10号 令和2年度網走市一般会計補正予算

議案第11号 令和2年度網走市市有財産整備特別会計補正予算

議案第12号 令和2年度網走市網走港整備特別会計補正予算

議案第13号 令和2年度網走市介護保険特別会計補正予算

議案第14号 令和2年度網走市後期高齢者医療特別会計補正予算

議案第15号 市道の路線認定について



議会だよりを音声でお届けします

朗読ボランティア団体『声の図書館そよかぜ』は、音読や訪問朗読などの活動をしています。平成13年から目の不自由な方やご高齢の方々のために「議会だより」を朗読したCDを作成し、御希望の方々に無償で配布しております。

※CDをご希望の方は、網走市議会事務局までご連絡ください。

議会報告会・意見交換会概要 コロナ対策で初のリモート開催 網走南ヶ丘高校で出前授業を実施

若年層の政治参画意識の向上を図ろうと、網走市議会は11月19日、網走南ヶ丘高校の生徒との意見交換会を実施しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から高校の教室と委員会室をオンラインでつなぎ、初めてのリモート開催となりました。

網走南ヶ丘高校との共催で企画。市議会議員14名が1年生39名と「選挙にいこう！」をテーマに意見を交わしました。

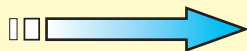
前段では、地方議会が担っている役割や選挙の意義について、議会側から説明。後半は、参政権年齢が18歳に

引き下げられたのを受けて、「どんな選挙なら若い人が積極的に投票へ行くか」という視点で議員と生徒が意見を交わしました。生徒からは「選挙期間中にスタンプラリーを実施して特産品がもらえる仕組み」「インターネットを使った電子投票を」「投票所の雰囲気が悪くないので、もう少し柔らかい雰囲気が良い」などのアイデアが出されました。また、質疑応答では、生徒から「普段は何をしていますか」「年収は」「何歳から議員になったのか」といった質問も出され、議員が個別に回答しました。

はじめてのリモート議会報告会・意見交換会のひとコマ 「選挙にいこう！」～どんな選挙なら投票に行きますか？～

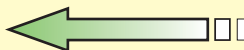


網走南ヶ丘高等学校



～南高生も議員も緊張のひととき～

「投票場の雰囲気をやわらかく」「議員の人はふだん何をしているの？」
高校生からの鋭い質問で議員が唖る場面も…



網走市議会

